

平成29年度 赤十字血液シンポジウム（愛媛会場）のご案内

平素より日本赤十字社の血液事業にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、中四国ブロック血液センターでは平成29年度赤十字血液シンポジウム（愛媛会場）を松山市総合コミュニティセンターにて開催いたします。

ご多忙中恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

開催日時、演題等につきましては、別紙をご参照ください。

- ◎ 参加費は無料です。
- ◎ 本シンポジウムは次の制度の単位となります。
 - ・日本医師会生涯教育制度
 - ・日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
 - ・日本自己血輸血学会が指定する認定制度
 - ・日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度
 - ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度
 - ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度



日本赤十字社 中四国ブロック血液センター
Japanese Red Cross Society

平成29年度 赤十字血液シンポジウム

【 愛媛会場 】

参加費無料

日時 平成29年8月5日(土) 13:00~16:50

参加費無料

会場 松山市総合コミュニティセンター キャメリアホール
(松山市湊町7丁目5番地)

內容 1.改定指針(赤血球)

座長：芦原 俊昭（愛媛県赤十字血液センター 所長）

血液製剤(赤血球)の使用指針の改定点と適正使用に対する当院の取り組み

坂尾 春彦（市立宇和島病院 心臓血管外科科長兼MFセンター長）

2. 改定指針（血小板）

座長：椿 和央（日本赤十字社中四国ブロック血液センター 所長）

科学的根拠と医療への適用

羽藤 高明 (愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部 特任教授)

3. 改定指針（新鮮凍結血漿）

座長：浦野 芳夫（徳島県赤十字血液センター 所長）

新鮮凍結血漿の改正指針と抗体薬治療の導入による血漿及び補充療法の変化

藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター 所長）

【特別講演】在宅医療と輸血

座長：池田 和眞（岡山県赤十字血液センター 所長）

To be or not to be : That is the question

三宅 敬二郎（在宅診療敬二郎クリニック 院長）

主 催：日本赤十字社中四国ブロック血液センター
共 催：愛媛県 愛媛県赤十字血液センター
後 援：日本医師会 日本薬剤師会 日本病院薬剤師会
日本看護協会 日本臨床衛生検査技師会
日本輸血・細胞治療学会



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

【門全廿生】

日本赤十字社
中四国ブロック血液センター
学術情報課 TEL 082-241-1619



- 松山市駅から 伊予鉄バス (JR松山駅前行)または(津田団地前行)約3分
「松山コミュニティセンター」で下車
- JR松山駅から 伊予鉄バス (久米駅前行)約2分
「松山コミュニティセンター」で下車
- 伊予鉄電車 京近線(土手町駅)へ乗車約4分

平成29年度赤十字血液シンポジウム

(愛媛会場)

参加申込書

日時：平成29年8月5日（土） 13:00～16:50

会場：松山市総合コミュニティセンター
(松山市湊町7-5)

施設名：_____ TEL：_____

お名前	職種

➤ 082-241-1521まで、ファックスにてお申し込みください。
(7月28日まで)